

令和6年度 算数科 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心となる単元 ◆カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な手立て	◎ 成果 ● 課題
知識・技能	<p>&lt;3～6年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト、及びベーシック診断と学力調査を縦断的にみると、各学年ともに発展コースと基礎コースにおいては、概ね基礎的な学習が定着している。</li> <li>・補充コースと一部の基礎コースでは、長期的な定着に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年「かけ算の筆算」「小数」</li> <li>○4年「わり算の筆算」「概数」</li> <li>○5年「倍数と約数」「割合」</li> <li>○6年「比例と反比例」「体積」</li> </ul>	<p><b>既習の反復学習</b></p> <p>(簡単なプリントや計算ドリルを活用)</p> <p>&lt;3～4年&gt;九九の定着、確実な加減法の習得 &lt;5～6年&gt;小数や分数の計算の習得、割合の正確な理解</p> <p><b>具体物の活用と体験的な学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物やICTで半具体物を提示して直接的に操作したり、生活の中の身近な事柄を題材にしたりする活動を、効果的に行う。</li> </ul>	
思考力・判断力・表現力等	<p>&lt;3～4年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで難しい問題に取り組んだり、児童間で多様な考えに触れ自己の考えを深めたりするなど、楽しく学んでいる児童が多い。</li> </ul> <p>&lt;5～6年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を用いて問題を解決することは全体的にできているが、思考力や表現力を要する問題については理解に差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年「円と球」「三角形と角」</li> <li>○4年「面積」「直方体と立方体」</li> <li>○5年「割合」「面積」</li> <li>○6年「データ」「拡大図と縮図」</li> </ul>	<p><b>学習活動の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習内容を生かしたり、図・表・グラフ・式など多様な方法で解決する学習を積み上げたりすることで、主体的に取り組めるようにする。</li> <li>・答えだけでなく、根拠も表現できるようにする。</li> </ul> <p><b>指導の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レディネステストを踏まえ、個々や各コースの学習状況に応じて、解決の糸口や見通しが持てるような指導や、興味深く継続して取り組むことができる教材選択について、予め連携する。</li> </ul>	
学びに向かう力・人間性等	<p>&lt;3～5年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に学習に取り組む児童が多い。一方、学習の理解の差が大きい。</li> </ul> <p>&lt;6年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真面目に取り組む児童がいる中で、主体的に粘り強く取り組むことが難しい児童が多い。</li> </ul>	<p>◆各単元の中に設定されている、数学的活動の充実を図る「今日の深い学び」</p>	<p><b>多様な見方・考え方の重視</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習問題との相違や題意をしっかりと捉えさせ、各コースによって、応用問題における演算決定や多様な解法による見方や考え方ができるような解決計画を丁寧に行う。</li> </ul>	